

3月5日（金）

令和2年度 瑞浪北中学校卒業証書授与式

感染防止対策として、学校生活のほとんどをジャージで過ごした今年度でしたが、この日は着慣れた制服に身を包み、大人をしみじみと感じさせる彼らでした。この日、3年生127名が胸を張って、瑞浪北中学校から巣立っていきました。



呼び慣れた生徒たちの名前を呼ぶのも、この日が最後の担任たち。一人一人の名をかみしめるように読み上げました。名前を呼びながら、脳裏に数々の思い出が蘇ってきたことでしょう。



卒業証書授与では、自信と希望に満ちた大きな声で返事をし、ステージに上がりました。何度も練習したわけではないのに、落ち着いて歩く姿、美しく礼をする姿、そして、厳かに証書を受け取る姿が見られました。



我が子の中学生最後の姿を見届けてくださった保護者の方々。本来なら人数を限定せず、多くの方々に見ていただきたかったのですが、現状ではそれもかなわず、「一家に一人」と限定させていただきました。学活は別室においてリモートで参観していただきました。

在校生を代表して卒業生に言葉を贈った2年生のI・R君。大きな返事、堂々とした所作に、伝統を受け継ぐ決意が表れていました。そして、卒業生の残してくれたものを継承し、それを更に発展させていくことを力強く語りました。



答辞は、今年度の二人の生徒会長Y・S君とM・Mさん。この一年、やりたいこともできない、行きたいところにも行けない、そして、歌いたい時にも歌えない状態が続きました。しかし、それに負けず、頑張ってきた自分たち、支えてくれた周りを振り返り、卒業生たちは

涙で答辞を締めくくりました。

式後は、学活で共に学んだ仲間との最後の時間を過ごしました。

